



# みつぎっ子

学校教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

〒400-0048 山梨県甲府市貢川本町8-1 TEL (055) 222-2408 FAX (055) 222-2407 文責：校長 伊東

## 6年生を送る会

6年生を送る会。新児童会役員を中心とした、特に、来年度から貢川小学校を引っ張っていかねばならない5年生にとっては、初めての大きな舞台。しかも、とても大切な一大イベント。子どもたちには「はじめの会」でも話をしましたが、今から50年以上も前、私が小学生の頃から開催されている「6年生を送る会」。時が経つにつれ、児童会行事も様変わりしたり、行事によっては、その行事自体がなくなってしまうかもしれませんが、この「6年生を送る会」は、未だに続いています。コロナ禍であろうとなかろうと、1年間お世話になった6年生に、精一杯の感謝の気持ちを伝えます。

6年生一人ひとりが全校の前で入場するシーン（卒業生の紹介）は、毎年恒例です。そうは言っても、感染対策上、全校を体育館に集合させることはできません。しかし、新児童会の子どもたちから、『自分たちだけでも体育館に集まって、6年生の入場シーンを演出させてください。』と熱い要望があり、今年度は、5年生の立ち会いのもと、入場シーンを体育館で事前録画し、会当日、全校に配信することになりました。

当日は、縦割り班ごとの教室に分かれ、ゲームをしたり、お互いに感謝の気持ちを伝え合ったりしました。これで貢川小児童会も、6年生から5年生にバトンが渡されました。

素晴らしい会を計画してくれた新児童会役員の皆さん、ありがとうございました。



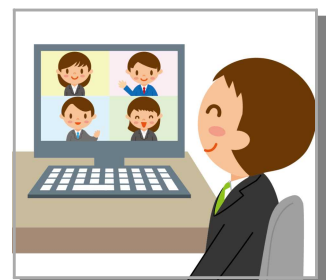
## PTA運営委員会をオンライン開催

感染症まん延防止の観点から、PTA活動は令和2年度から制限せざるを得ない状況が続いてきましたが、「旗振り当番」「体育着販売」「PTA新聞づくり」などについては、会員の皆様方のご理解とご協力により、ほぼ従来通りの活動を行うことができました。

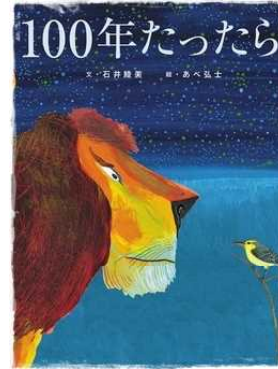
この3年間、「学校行事」についてもそうでしたが、コロナ禍は逆手に取れば、改善するチャンスとして捉えることができます。その一つが、今回のPTA会議のオンライン化です。PTA役員をお引き受けくださっている方々の、少しでも負担軽減となる方法はないだろうか、模索してきましたが、「諸会議のオンライン化」は、それほど難易度は高くなさそうです。そこで、2月24日の18時30分より、「オンラインによるPTA運営委員会」を開催しました。本校では初めての試みとなりましたが、会議もスムーズに進行し、参集ではありませんでしたが、この会議の目的は十分に達成できたのではないかと思います。

全ての会議がオンラインで十分事足りる、とは思いませんが、一人でも多くの役員に参加してもらうためには、どうしても19時前後に会議を開始したいところです。そうした場合、学校に来ていただく必要がなく、自宅に居ながらにして会議に参加することができれば、大分負担は軽減されるのではないかと思います。

もちろん、参集することにこしたことはないとは思いますが……



## らいおんはあと



2月28日、「らいおんハート」のメンバー3名が、卒業を控えた6年生のためにと、お忙しい中、読み聞かせに来てくださいました。3冊の絵本を、一人一冊ずつ担当され、実に温かたで、心のこもった読み聞かせの会となりました。

その中でも、『たったひとりのあなたへ（光村教育図書）』の読み聞かせは、「らいおんハート」の皆さんから卒業生へのメッセージだったように感じました。ありがとうございました。

「あなたが あなたのままで いるだけで、きょうが とくべつな いちにちになります。この ひろい せかいに、あなたという ひとは たったひとり。おなじ ひとは、ほかにだれも いません。わたしは、そのままの あなたが だいすきです。」

## 「体罰」は許されない

毎日のように、全国各地の学校現場で発生した「体罰事案」のニュースを目にします。今日は、少なくとも3件の記事を目にしました。同じ事案でも、他社の取材による記事を読むようにはしてはいますが、ほとんどの場合とっていいほど、『カッ!となってしまった(許せなかった)のかな。』と感ずてしまいます。当事者の方々にとっては、そんな簡単に済まされることではないとは思いますが、少なくとも私たち教員は、目の前の子どもたちに対して、いかなる場合も、決して感情的になってしまつてはいけません。

本校では、『指導観を変えていくことの大切さ』についての理解を全職員で共有しています。この『指導観』ですが、「学習指導」だけではなく、「生徒指導」に関しても同様です。

『なぜ失敗したのか。』と、担任は児童に問ひかける前に、自分自身に向けて『どうして、この子は失敗してしまつたのか。』と問ひかけてみなければなりません。

- ・「あの時、自分の指示の出し方に問題はなかつたのか。」
- ・「あの時、全体的子どもたちに指示が理解されているか確認したか。」
- ・「子どもたちのために、いつでも気軽に聞き返すことができる環境作りに努めていたか。」

教え、導きたい内容と、目の前にいる子どもたちの実態とのズレを埋めるために、どのような指導をするのが最適か・・・それは、子どもたちに尋ねるのではなく、先ずは私たち教員が、自分自身に問ひかけなければならない。私は、強く思います。

## 今年も開花が待ち遠しい

本校に植樹されている「桜の木」の中で、毎年、一番先に花を咲かせるのが、校庭の北西角の桜です。2月28日現在、つぼみは小さく、開花の予感を感じるまでには、まだまだ時間がかかりそうです。冬の寒さに耐え、これまで、ず〜っと本校の子どもたちを見守つてきてくれた桜の木。今年も、もうすぐ綺麗な花を見せてくれることでしょう。

